

(様式)

令和 8 年度

部の指導方針等について

令和 8 年 4 月 21 日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	山田 健太	遠藤 恵大	三段(R4/5 インターハイ出場)	週 1 回
副顧問	伊東 敬太			
副顧問	泉崎 靖子			
副顧問	加藤 正紀			
副顧問	入江 俊行			

2 年間目標

- ① 目的意識と実践力を持ち、大会入賞など各自の目標達成に向かい日々努力を重ねる。
- ② 「文武両道」を方針とし、少林寺拳法の拳士として心身を鍛え、都立清瀬高校の生徒として規範となる人物となる。

3 指導方針

- ① 部活動の質と量の工夫を行い、モチベーションを高く持ち、自主的に短時間で集中して行う。
- ② 外部との繋がりや連携を重視し、合同練習やご指導を頂く時間を確保する。
- ③ 挨拶の励行、正しい言葉遣い、基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成リーダーシップや自己マネジメント能力を養う。
- ④ チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- ⑤ 競技大会、コンクール後の自己分析や他校の研究を行い、発表等を行うことで具体的目標の到達を目指す。

4 指導内容・方法

- ① 体罰・暴言等のない指導
科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。
- ② 生徒間の暴力禁止
運動部活動の生徒に対して、武道を志す者としての心構えを毎回の稽古で伝え、上級生から下級生へ、同級生同士の間での相手を尊重することを、日頃からの指導を通じて徹底する。
- ③ 事故防止・安全配慮
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	生徒会部活動紹介
	5	東京都高等学校少林寺拳法大会 5 日（祝/火）（大田区総合体育館）
	6	関東高等学校少林寺拳法大会 13 日（土）・14 日（日）（東京武道館） 夏季合宿健康診断
	7	インターハイ強化練習（清瀬高等学校） （※日程は未） インターハイ 31 日（金）～8 月 2 日（日）（和歌山県立橋本体育館） 高体連合同稽古 27 日（月）（東京武道館）
	8	夏季合宿 10 日（月）～12 日（水） （山梨県甲府市 中高大学生合宿参加 2 泊 3 日）
2 学期	9	演武講習会 20（日）（東京都市大付属高校）
	11	東京都高等学校少林寺拳法新人大会 8 日（日）（帝京高校）
	12	関東高等学校選抜少林寺拳法大会 20 日（日） （茨城県アルテンジャパン武道館） 高体連合同稽古 28 日（東京武道館）
3 学期	1	
	2	
	3	全国高等学校選抜少林寺拳法大会 26 日（金）～28 日（日）（※岡山県）

※ 合宿や県外遠征などの宿泊を伴う活動については、必ず記載する。